

平成 30 年 第 11 回定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 平成 30 年 11 月 27 日 (火) 14 時 00 分～
- 2 招集場所 佐々町役場 別館 2 階会議室
- 3 出席委員 黒川教育長、舩委員、十時委員、山之内委員、寺崎委員
- 4 事務局出席者 水本次長、貞松指導主事、落合次長補佐、林枝係長
- 5 会議録署名委員の指名 十時 嘉代子 委員
- 6 前回の会議録の承認 平成 30 年 第 10 回定例教育委員会 (10/23)
- 7 教育長報告
- 8 案 件 議案第 24 号 平成 29 年度自己点検・評価について
- 9 報告事項
  - (1) 通学路安全マップについて
  - (2) 学校訪問について
  - (3) 長崎県市町村教育委員会研究大会について
  - (4) 空調設備設置について
  - (5) 佐々町学校給食施設整備検討委員会について
  - (6) 県民表彰について
  - (7) 名義後援について
  - (8) 準要保護の 11 月認定について
  - (9) 行事関係報告について
  - (10) その他
- 10 その他
  - (1) 次回開催日程 平成 30 年 12 月 25 日 (火) 14 時 00 分～
  - (2) 場 所 佐々町公民館 第 3 会議室
  - (3) そ の 他

〈審議の経過（要約）〉

教育長	ただ今から、平成30年第11回定例教育委員会を開催します。
教育長	<b>5 会議録署名委員の指名</b> 本日の会議録署名委員を指名します。十時 嘉代子委員をお願いします。
教育長	<b>6 前回の会議録の承認</b> 前回の「平成30年第10回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
教育長	今、説明がありましたが、質問や、お尋ね等ございますでしょうか。  (「なし」の声あり。)
教育長	ないようでしたら承認することといたします。
教育長	<b>7 教育長報告</b> 次に教育長報告に入ります。
教育長	(1) 教育長の主な行動 (資料により説明)
教育長	(2) 町内校長会指導事項等 <b>【指導事項】</b> ○教職員の不祥事 「県立高校教諭わいせつ行為」ということで、この不祥事は今年度、起こっています。また、いろいろところで教職員の不祥事が重なっているわけですが、平成28年度から平成30年度までに懲戒処分が13件、うち、わいせつ・セクハラ行為が7件あったということで、非常に心配な事態であるということで、県教育委員会のほうでは、自己分析シートをやりたいとのこと。それぞれ自分でシートに記入することによって、そういう傾向等があるのかどうかということについて自己分析をするということです。佐々町でもぜひともこれをやりたいという話をしました。 ○行き過ぎた指導 福井県の「中学2年生の自殺」ということが報道されましたが、「行き過ぎた指導を認める」ということで、特性を持ったお子さんだったと報道されています。 一律に、生徒の気持ちを理解せずに厳しい指導をしたり、叱責をしたりということで子どもが追い詰められていったということで、子どもの特性を理解して対

教育長

応するよという話をしました。

○運動部活動ガイドライン

「県教委が策定、来春適用」ということで、週2日以上 of 休養日、それから週16時間の活動というところがガイドラインのメインとなるところです。それ以上の運動をすると、過度の運動で事故率も高まるということで、このガイドラインが策定されました。そして、これを受けて、各市町で市町のガイドラインをつくり、そして各学校でつくり、来年4月から実施するということになっています。私どもとしては、佐世保市と協調しながら、佐々町だけ長いとか、佐々町だけ短いとかそういうことにならないように対応していきたいと思っています。体育協会とか社会体育にも同じような依頼をする必要があるだろうと思っています。

これも、最近報道されていましたが、文化部活動についても同じようなガイドラインということで、来年度、動きが出てくるのではないかと考えています。

○生徒指導

「大麻所持中3生徒逮捕」、「中3男子祖母殺害、殺傷か」というような、何か理解不能な問題行動、突拍子もない問題行動、そしてそれがなかなか見えないという実態もあるのかもしれない。そして、それは特異な事例、そこでしか起きない事例ではなくて、いつ、自校で起こるかわからない事例だということも考えておいてほしいという話をしました。

○教師の報告、校長の発言

「記者の目」ということで、「校長は発言に責任を」ということで載っていました。これは、ある中学校のベランダから生徒が転落したという事故を受けて、校長が、最初はベランダ付近で数人で悪ふざけをしていたというようなことを言っていたのに、それは憶測だったと一転した話をしたということで取り上げられているところです。

校長先生方に、報告を受けるときに報告者から「何々だったんじゃないでしょうか」「暴れていたんじゃないでしょうか」「悪ふざけしていたんじゃないでしょうか」「自分はこうこうしていたと思うんですけど」という憶測による報告はやめさせてくれということで話をしました。事実関係を確実に、自分が把握したことを確実に連絡をする。そうでないと、校長自身が報告を受けたときに、「だったんじゃないですか」ということとか、「悪ふざけをされていて」というような発言につながる場合があるということです。事実関係は事実を押さえながら報告を受けるように、また、私どもに報告する場合も、事実関係は事実関係として報告するよという話をしました。

もちろん、対策等になった場合は、こうしたらこうなったかもしれないというよな、「かもしれない」という話はあるかもしれませんが、事実関係を正確に把握するよという話をしました。

【連絡事項】

○学校訪問

○学力向上委員会に係る視察

教育長	<p><b>【気になっていること】</b></p> <p>○少子化と学校統廃合      何回も同じような話をしていますけれど、少子化が急激に進行し、中学校の8割超が学級数標準未満ということで、小学校で7割超ということです。この傾向というのには簡単には止まらないだろうし、少子化、学校規模の小規模化が、今後も続くということで、注視しておくようにという話をしました。</p> <p>○総合的な学習の時間      週休日や夏休みに自分で活動したことを総合的な学習の時間としてカウントしようということですが、考え方としてはなるほどと思うけれど、実際これができるのかということ非常に疑問があるわけで、自己申告で授業時数にカウントするのか、見回りをして確認するのか、都会だったらそういう場所があってできるのかといういろいろな疑問があるわけですが、こういう動きになったときの対応というのは非常に厳しいだろうという話をしました。</p> <p>○プログラミング学習      プログラミング学習というのが今回の学習指導要領改訂の一つのポイントになっているわけですが、それでは、プログラミング学習をどこでどうするかということについては具体的に触れられていません。各教科の中でプログラミング的な考え方を入れていくというような話になっていて、そういうふうに教科書ができてくるんだろうと思っています。例えば、数学の図形を描くところで、図形を描くソフトを使って描くとか、理科の実験の結果をグラフ化するとか、そういった部分で入ってくるのかなと思っています。なかなか、具体が見えないので気にしているところですが、文科省は、新学習指導要領が完全実施になる2020年度に指導の手引を作成すると言っているところです。それを注視しながら、対応していこうという話をしたところです。</p> <p>私からの報告は以上です。何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
事務局	<p><b>8 案件</b></p> <p>議案第24号 平成29年度自己点検・評価について      (資料により説明)</p>
教育長	<p>今、事務局のほうから説明がありましたが、外部評価委員の評価についての意見を承ったということです。この全体について、議会報告、ホームページに掲載するということでよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
事務局	<p><b>9 報告事項</b></p> <p>(1) 通学路安全マップについて      (資料により説明)</p>

教育長	<p>重大な事案というのは、今までのところ起こっていませんが、やはり時折、つけられた、不審者が出たというようなことは起こっているのも事実です。今後とも、このあたりはということがありましたら、情報をいただければと思っています。</p> <p>(2) 学校訪問について</p>
教育長	<p>10月から11月にかけて、教育委員の皆様とともに学校訪問を行ったわけですが、各委員から何かご意見があればお伺いしたいと思います。</p>
教育委員	<p>教育委員になったばかりで、かなり緊張もあったり、学校教育に携わったことがないので、ちょっと荷が重かったなというのが正直な印象でした。今からは、毎年度、新人教育委員さんが就任されるということになると思うので、できればなんですけど、当日、行ったときに資料をいただくじゃないですか。そうしたらもう見るのが精一杯で、というか、見ることもできないので、帰ってもう一回見直すと、こういうことも書いてあったなということが多かったので、もし可能なら、事前に文書をいただけると、もうちょっと余裕を持って学校の先生のお話を聞けたりできたかなと。新任としてはスケジュール、内容的にちょっと厳しかったです。</p>
事務局	<p>指導案集と学校経営説明資料という2つがあると思うんですが、学校経営説明資料というのは校長が作る資料なんですけど、3日ぐらい前にはできていると思います。</p> <p>指導案集は、先生方からの提出が遅くなるんですけど、学校経営説明資料については、事前に出せということであれば、私は可能だと思います。</p>
教育長	<p>結局、指導案集というのが、この授業を当てると決まらないといけないわけですね。そうすると、何かがあって欠けたとか、ちょっと遅れてしまったということがあります。そのようなことでぎりぎりになってしまいます。</p> <p>あまり荷が重いと思われずに、率直なところでおっしゃっていただいて結構だと思うんです。学校の内容等々については、指導主事が指導、助言するわけですから、保護者なり、地域なりいろんな立場からのご意見のほうはむしろ学校にとっては貴重で、荷が重かったと言われると、何か負担をかけたなという反省になってしまいますので、ぜひそういう立場でご意見をお願いしたいと思います。</p>
教育委員	<p>現場を見させていただいて、すごいなという感心のほうが大きくて、いい経験をさせていただいたという気持ちです。来年度とかとなったときに、そうしていただけると、また違った深い考え方ができるのかなと思ったので、よろしく願います。</p>
教育長	<p>ほか、いかがでしょうか。子どもの様子や教室の様子で結構です</p>

教育委員	<p>各学校、伝え合う学習とか、先行授業ですか、そういうところで特色を持って、その学校のそういうふうな目当てに向かってされている姿が身近に見ることができてよかったなと思います。そして、授業中の先生方が明るくて元気があると、子どもたちも生き生きしているなという印象を抱きました。</p>
教育委員	<p>皆さん、よく頑張っていらっしゃるというのは毎回感じることです。</p> <p>ちょうど研究大会の講話があって、教職員のメンタルヘルスというのがあったんですけど、あれを見ていると、やはり先生の負担の中では、保護者対応のストレスがかなり高いというので、生徒たちの指導ももちろんですけど、そういうふうなところで、先生によってストレスを感じる度合いに個人差があると思うんです。特に、講話の最後のほうで気になったのが、自分の意思にかかわりなく教職に向かない人、管理職に向かない人がいるというようなことを言われたんで、こういうふうな先生は相当ストレスを抱えられる方がいらっしゃるんで、そのあたりの今後のケアというか、やはり皆さんのレベルがハイレベルになっていくので、それについていけない先生方の対応がこれから大変になっていくのかなと思いました。特に、この前の研究大会で話を聞いてから、そういうふうに思いました。みんなで支え合っていくシステムを手がける必要がだんだん高くなるのかなという思いを持ったところなんです。</p> <p>皆さんのレベルが非常に高くなっているなど。私たちの頃の先生と比べると、本当に先生すごいですよね。もう熱心で、本当よくされるし、主体的対応、あれよかったですね。数学の面積の出し方であのマス目のいろいろな組み合わせ方、あれは驚きでした。あんないろいろな方法で面積が出せるのかというような、ああいうものを見ていると、今の教え方ってすごいなと感じました。</p> <p>その上で先生個人個人の持っている資質というか、そういうあたりとの関連、ちょっとこれから先、できる先生はいいんですけど、できない先生は大変だろうなという感じを持ったところなんです。</p>
事務局	<p>私も今までやってきて、昔と比べたらというのはおかしいんですが、やはり前は、先生個人で授業等もされて、例えば保護者対応、または授業に対しても、子どもに対しても1人で抱え込むということがあったんですけど、もう今はほとんど組織で、学校の組織内として対応していく。決して1人で悩まないということをどこの校長も言っているはずなんです。そうしないと、あまりにもいろいろな課題が多過ぎて、担任1人ではもう抱え込むことができない。それを組織でやっていくということを今やっていますので、中にはやはり潰れてしまう職員も確かにいるんですが、そういう職員をつくらないように、各校長はやっていると思います。</p>
教育委員	<p>多分、学校では、週に1回か月に何回か、自分の学級の子を抱え込まないように、みんなにそれを報告して、それを共通理解のもとにみんなで育てていこうと。保護者対応に関しても、そういうふうな時間がたぶん設定されていると思います。</p> <p>やはり、そこで以前と違って、今はもう出してください、抱え込まないでと、みんなでやっていきましょうというような姿勢で進んでいるんじゃないかなと思</p>

教育委員	っています。
事務局	少なくとも、月に1回はやっています。
教育委員	どの学校もすごくよくされていて、それぞれに特徴があるので、できれば、3校研でよく話し合われていると思うんですけど、もっとスピードアップして、共有し合って、今、小学校のほうで成績がいいので、中学校に行ったときに中学校に続けるような体制を、システムづくりをしていただきたいと思います。
教育長	ご指摘のとおりだと思います。
	(3) 長崎県市町村教育委員会研究大会について
教育長	長崎県市町村教育委員会研究大会について、各分科会の報告、それぞれの分科会から簡単にご報告と感想等お教えいただければと思います。
教育委員	第2分科会です。 波佐見町だったんですけど、農家の活動がすごい活発です。発表を見ていると、町全体が、地域の結束力が非常に強いと思いました。佐々町とあまり人口も変わらないんですけど、農家の数が倍以上あります。 とにかく、50年で人口が1,000人しか減らなかったと言われていました。 波佐見町は波佐見町でいろいろやるので、やっぱり地域に即したいろいろなやり方をしておられて、それが町の個性なのかなと思います。何をやるにしても結束力が強いというところは特徴なのかなと。 しかし、佐々町は佐々町で非常にうまくやっているので、それはそれとして聞いたところでは。
事務局	波佐見町も佐々町も地形的に似ています。盆地で、山に囲まれたような。 鬼木の棚田まつりとか、結構、祭りも多くて、モニターツアーの実施とか、観光面に力を入れています。町の活性化に向けた取り組みというのは、熱心にやっています。
教育委員	そうですね。
教育委員	その観光人口が、100万人を目標にしていたのを達成したというふうに言っただけだから、そういう観光資源がある陶器の町というのがあるからかもしれないですけど、活気を感じました。古いものと新しいものとを上手に融合されているなという感じで。
教育長	第1分科会のほうは。

教育委員	<p>第1分科会は、東彼杵町からのコミュニティ・スクールの取り組みということで発表がありまして、東彼杵町のコミュニティ・スクールの作り方というのが、小学校が2つと中学校が2つありまして、その各学校で学校運営協議会を開いて運営しているということで、佐々町との違いと云ったら、自分が把握した感じなんですけど、各行事、PTA行事、運動会を含んだ行事を全て運営協議会のほうで協議して、人間的なものもそこで集めて学校のほうで反映していこうという形なんじゃないかなということがありまして、その中で、4つの運営協議会を束ねているコーディネーターが1人いるという形になっています。今度、中学校も合併するらしいですが、その合併する経緯でも学校運営委員会が機能したということで発表されました。</p> <p>自分の感想としましては、まず、学校自体の全ての行事が運営協議会に委ねられていて、ちょっと窮屈なのかなという印象を受けました。それと、コーディネーターが1人で負担を抱えているんじゃないかなという印象を受けました。東彼杵町はうまくいっているそうなのでよかったと思うんですけど、佐々町のほうでは、今の佐々っ子応援団のやり方のほうが合っているのかなという印象を受けました。以上です。</p>
教育長	<p>東彼杵町は文科省の指定を受けて、コミュニティ・スクール化をしました。佐々町の場合との違いはあると思います。</p>
教育委員	<p>学校のほうにどんなことをしてほしいかというアンケートをとって、それで、例えば芝の運動場で芝の整備が大変だと言ったら、それを引き受けて、人を派遣してするとかそういうこともあっているみたいでした。そういうところはすごくいいと思うんです。</p>
事務局	<p>(4)空調設備設置について (資料により説明)</p>
事務局	<p>(5)佐々町学校給食施設整備検討委員会について (口頭で説明)</p>
事務局	<p>(6)県民表彰について (口頭で説明)</p>
事務局	<p>(7)名義後援について 5件分について報告。</p>
事務局	<p>(8)準要保護の11月認定について 1件分について報告。</p>



事務局	<p>(9)行事関係報告について 主な教育委員会行事の11月実績および12月予定について報告。</p>
事務局	<p>(10)その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・表彰について</li><li>・課内研修について</li></ul> <p style="text-align: right;">(15時43分 閉会)</p> <p>上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。</p> <p>平成30年11月27日</p> <p>教育長 黒川 雅彦</p> <p>委員 十時 嘉代子</p>